

**第5次亀岡市総合計画策定に係る
亀岡市まちづくり WEB アンケート
【結果報告書】**

令和元年 10 月

亀 岡 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
3	報告書の見方.....	1
II	調査結果	2
1	回答者について.....	2
2	住みごこちや、まちづくりの取組について.....	4
3	地域活動（コミュニティ活動）について.....	8
4	子育て支援、高齢者福祉、障がいのある人の支援について	16
5	環境について.....	18
6	まちの将来について	20

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和3年度からの10年間を計画期間とする「第5次亀岡市総合計画」の策定に向けて、市内在住のWEB アンケート調査登録モニターからの意見や提案を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：亀岡市全域
- 調査対象者：亀岡市内に在住のWEB アンケート調査登録者
- 調査期間：令和元年8月8日（木）～8月11日（日）
- 調査方法：インターネットリサーチ（WEB アンケート）
- 有効回収数：206件

3 報告書の見方

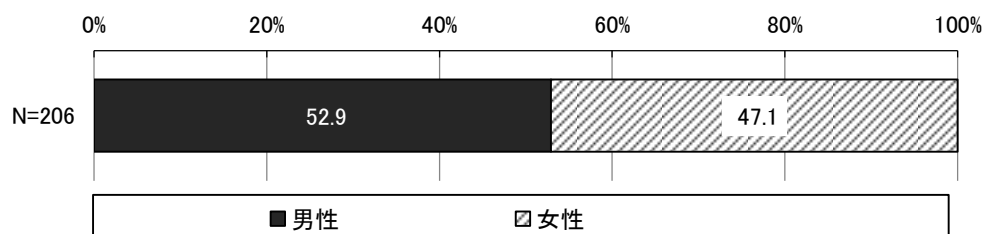
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査結果

1 回答者について

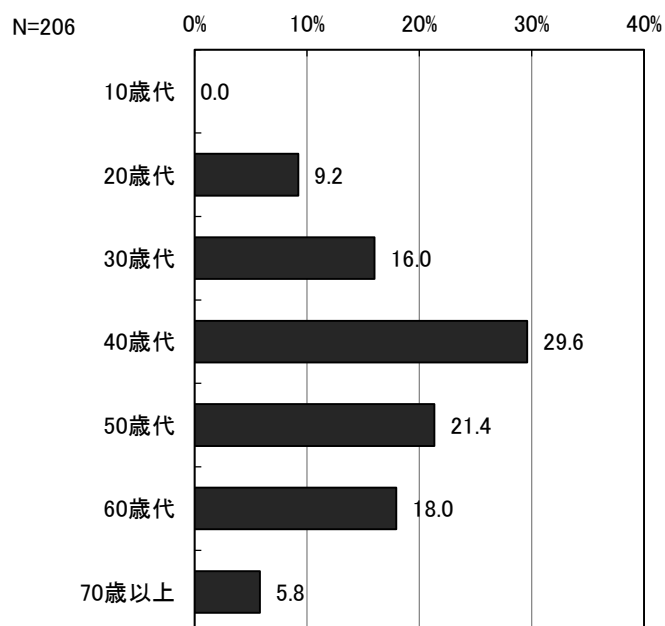
（１）性別〈単数回答〉

性別については、「男性」が52.9%、「女性」が47.1%となっています。



（２）年代〈単数回答〉

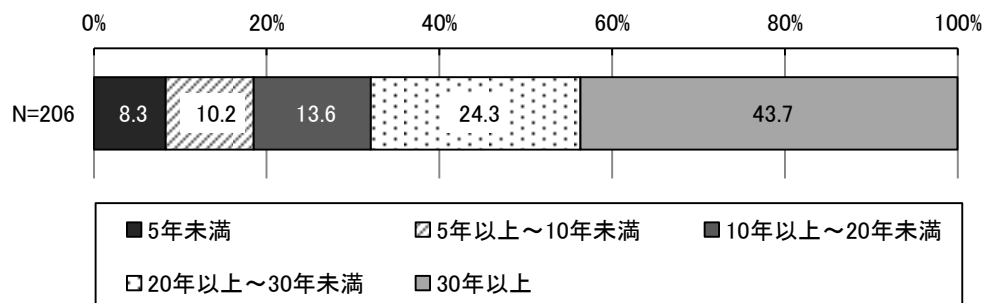
年代については、「40 歳代」が29.6%で最も高く、次いで「50 歳代」が21.4%となっています。



(3) 居住年数〈単数回答〉

〔問1 あなたはどのくらい亀岡市にお住まいですか。あてはまるものを1つ選んでください。〕

居住年数については、「30 年以上」が 43.7%で最も高く、次いで「20 年以上～30 年未満」が 24.3%となっています。



2 住みごこちや、まちづくりの取組について

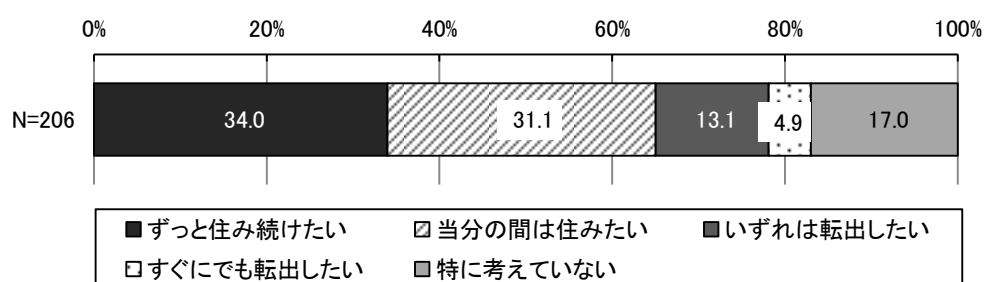
(1) 亀岡市での定住意向〈単数回答〉

〔問2 あなたはこれからも亀岡市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。〕

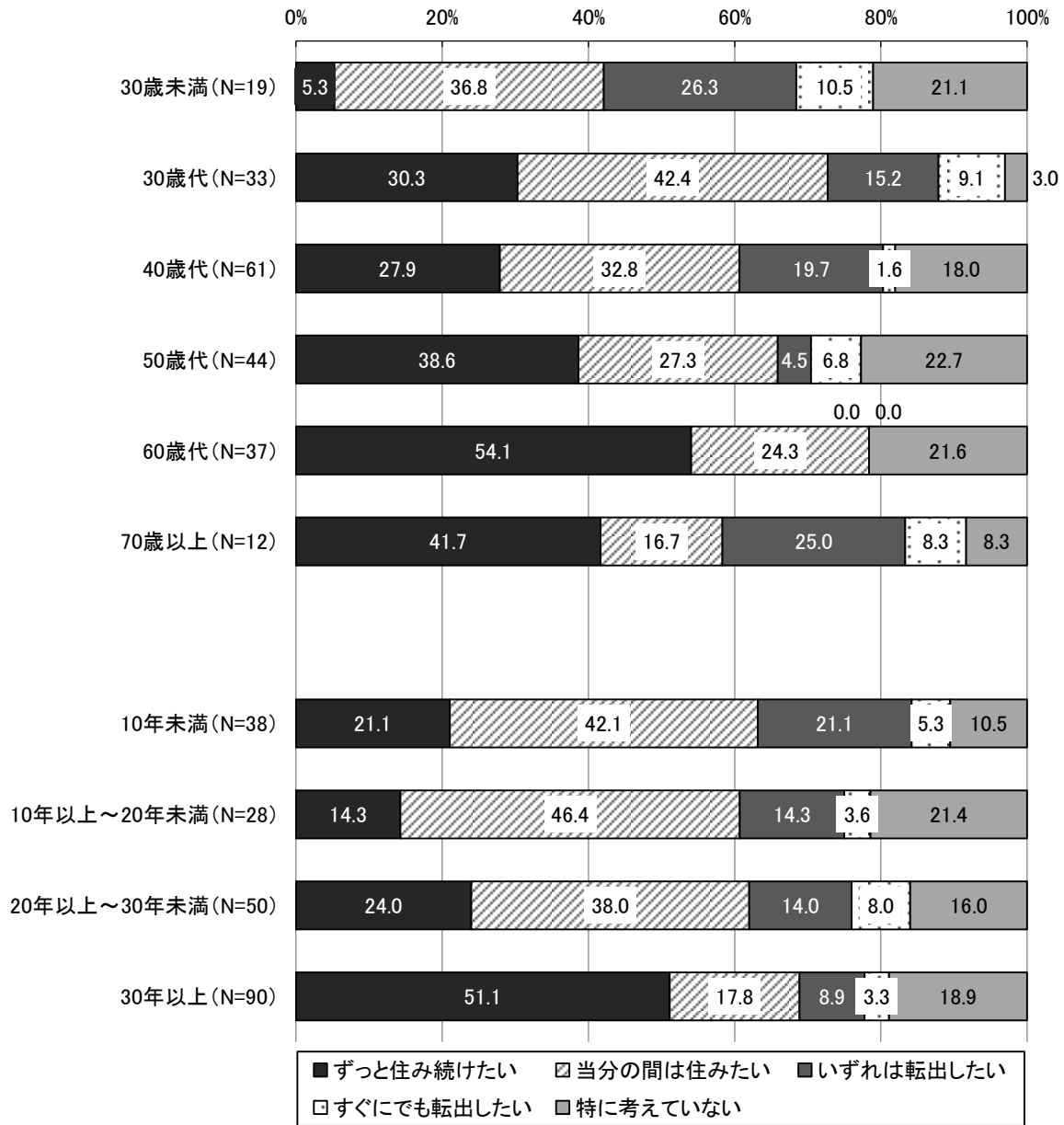
亀岡市での定住意向については、「ずっと住み続けたい」が34.0%で最も高く、次いで「当分の間は住みたい」が31.1%となっています。

年代（6区分／30歳未満・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳以上）別にみると、【30歳未満】では「ずっと住み続けたい」が他の年代と比べて低くなっています。

居住年数（4区分／10年未満・10年以上～20年未満・20年以上～30年未満・30年以上）別にみると、【30年以上】で「ずっと住み続けたい」が他の居住年数より高くなっています。



《年代別・居住年数別クロス集計》

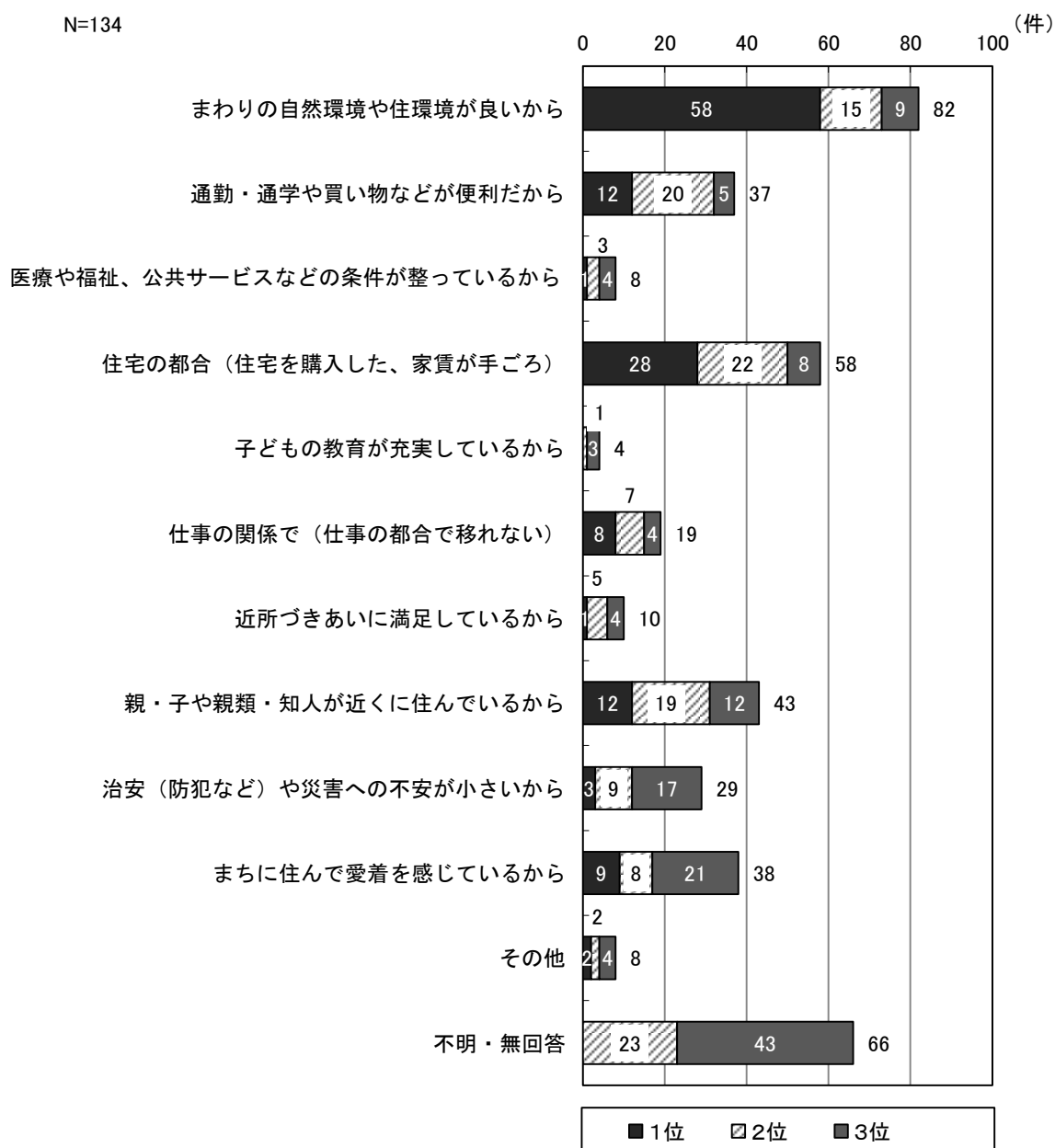


(1) で「ずっと住みたい」「当分の間は住みたい」を選んだ方

(2) 亀岡市に定住したい理由〈1位から3位まで回答〉

〔問3 問2で「ずっと住みたい」「当分の間は住みたい」とお答えの方で、住みたい理由は何ですか。特に大きな理由を第1位から第3位までお選びください。〕

住みたい人にその理由を第1位から第3位まで聞いたところ、「まわりの自然環境や住環境が良いから」を1～3位いずれかに選択した方が最も多く、計82件となっています。次いで、「住宅の都合（住宅を購入した、家賃が手ごろ）」が計58件、「親・子や親類・知人が近くに住んでいるから」が計43件となっています。

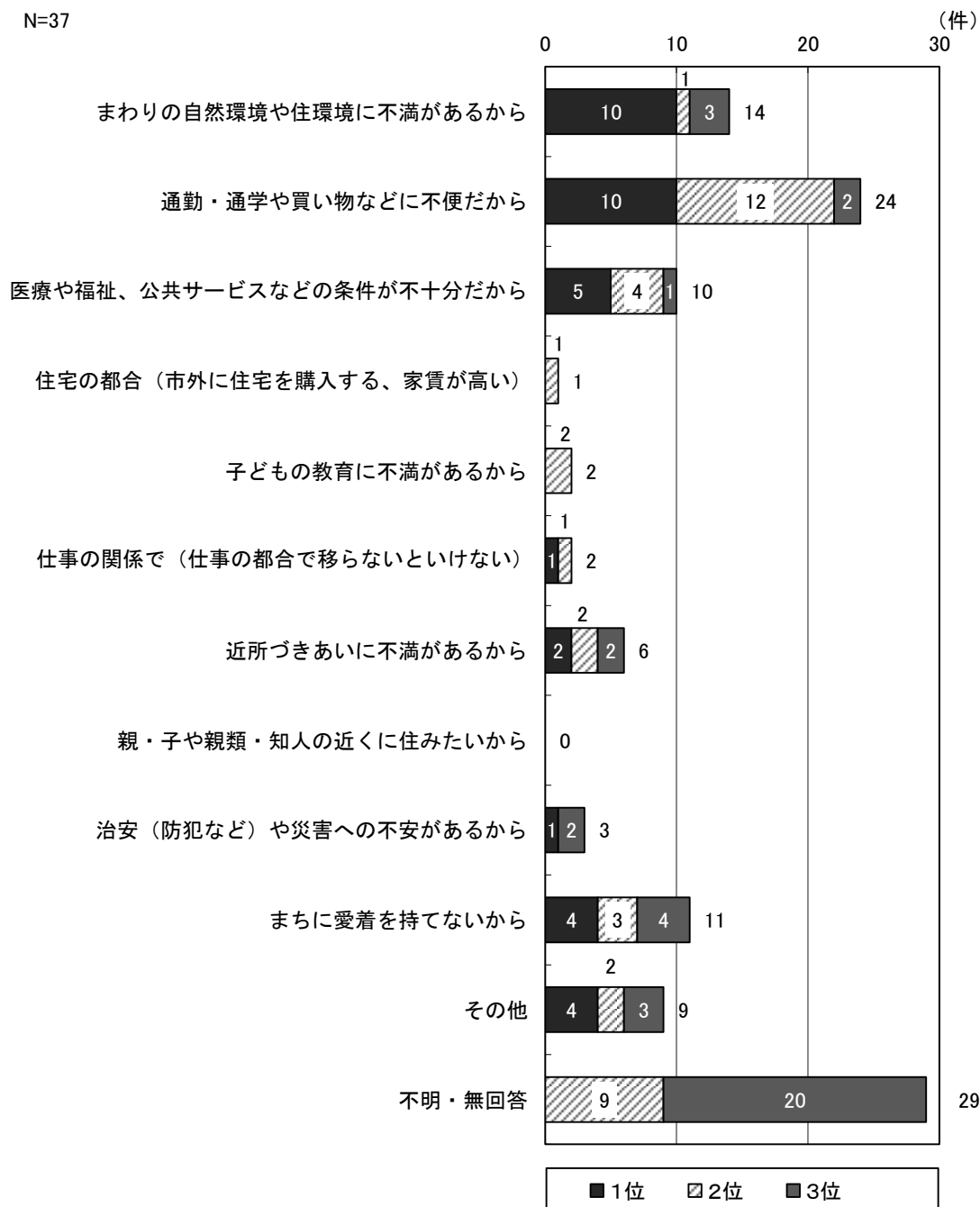


(1) で「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」を選んだ方

(3) 住み替えたい理由〈1位から3位まで回答〉

〔問5 問2で「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」とお答えの方で、住み替えたい理由は何ですか。特に大きな理由を第1位から第3位までお選びください。〕

住み替えたい人にその理由を第1位から第3位まで聞いたところ、「通勤・通学や買い物などに不便だから」を1～3位いずれかに選択した方が最も多く、計24件となっています。次いで、「まわりの自然環境や住環境に不満があるから」が計14件、「まちに愛着を持ってないから」が計11件となっています。



3 地域活動（コミュニティ活動）について

（１）現在お住まいの地域でコミュニティ活動を活発にしていくために、効果的な取組

〈複数回答〉

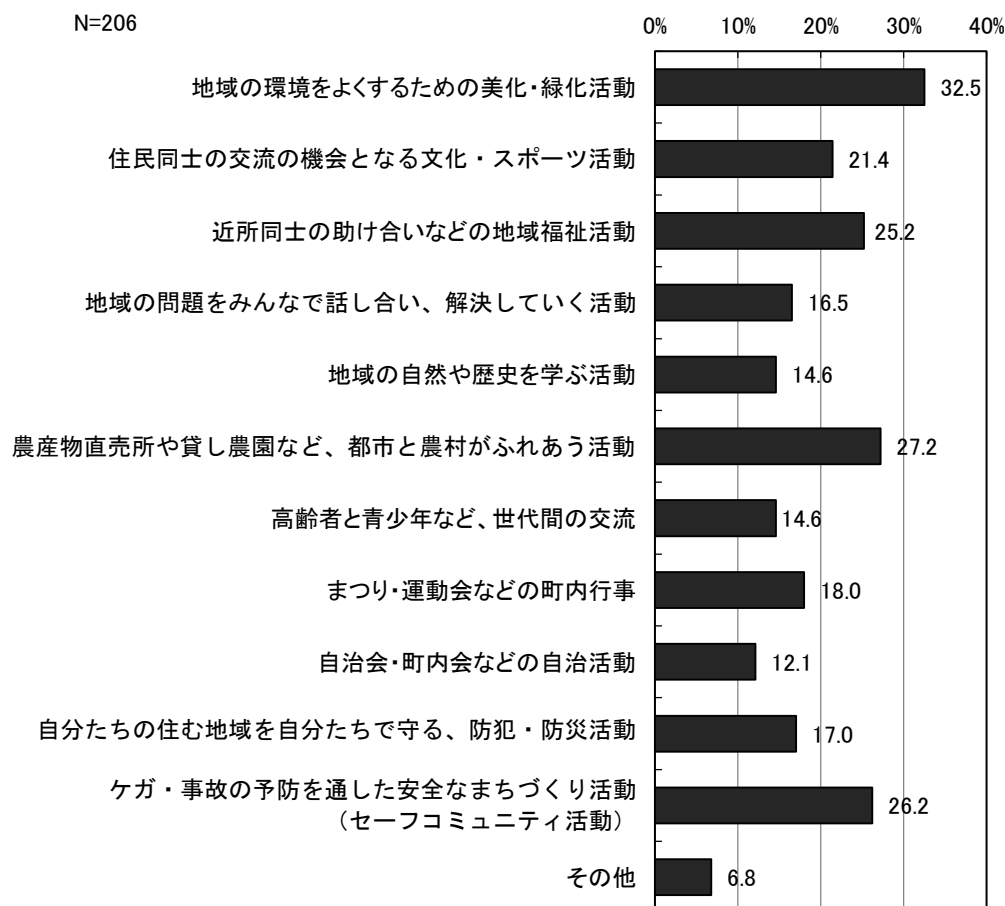
〔問７ 現在お住まいの地域でコミュニティ活動を活発にしていくためには、どのような取組が効果的だとお考えですか。次のうちからあてはまるものを３つまでお選びください。「その他」を選んだ場合は、具体的に記載してください。〕

現在お住まいの地域でコミュニティ活動を活発にしていくために、効果的な取組については、「地域の環境をよくするための美化・緑化活動」が 32.5%で最も高く、次いで「農産物直売所や貸し農園など、都市と農村がふれあう活動」が 27.2%、「ケガ・事故の予防を通した安全なまちづくり活動（セーフコミュニティ活動）」が 26.2%となっています。

男女別にみると、【女性】では「地域の環境をよくするための美化・緑化活動」について、【女性】が【男性】を 16.4 ポイント上回っています。

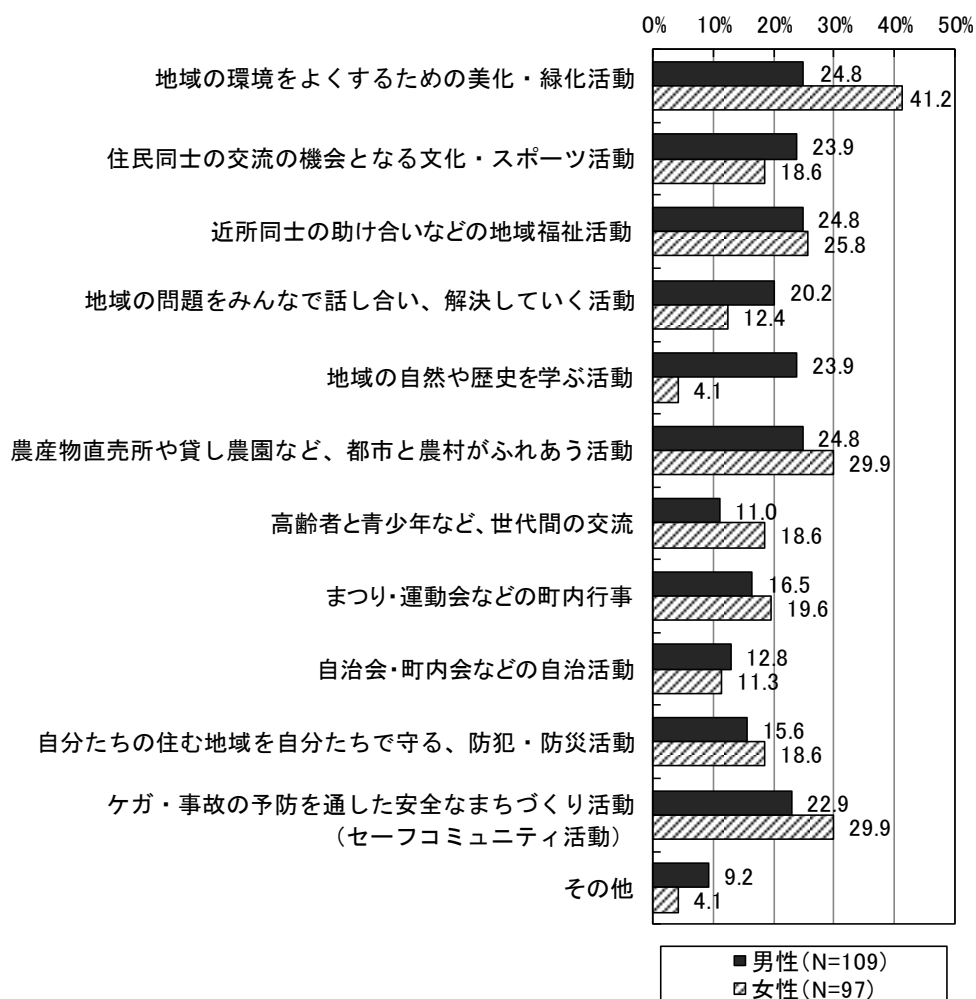
年代別にみると、【40 歳代】では「農産物直売所や貸し農園など、都市と農村がふれあう活動」、【50 歳代】では「ケガ・事故の予防を通した安全なまちづくり活動（セーフコミュニティ活動）」が最も高くなっています。

居住年数別にみると、【10 年未満】では「ケガ・事故の予防を通した安全なまちづくり活動（セーフコミュニティ活動）」、【20 年以上～30 年未満】では「近所同士の助け合いなどの地域福祉活動」が最も高くなっています。

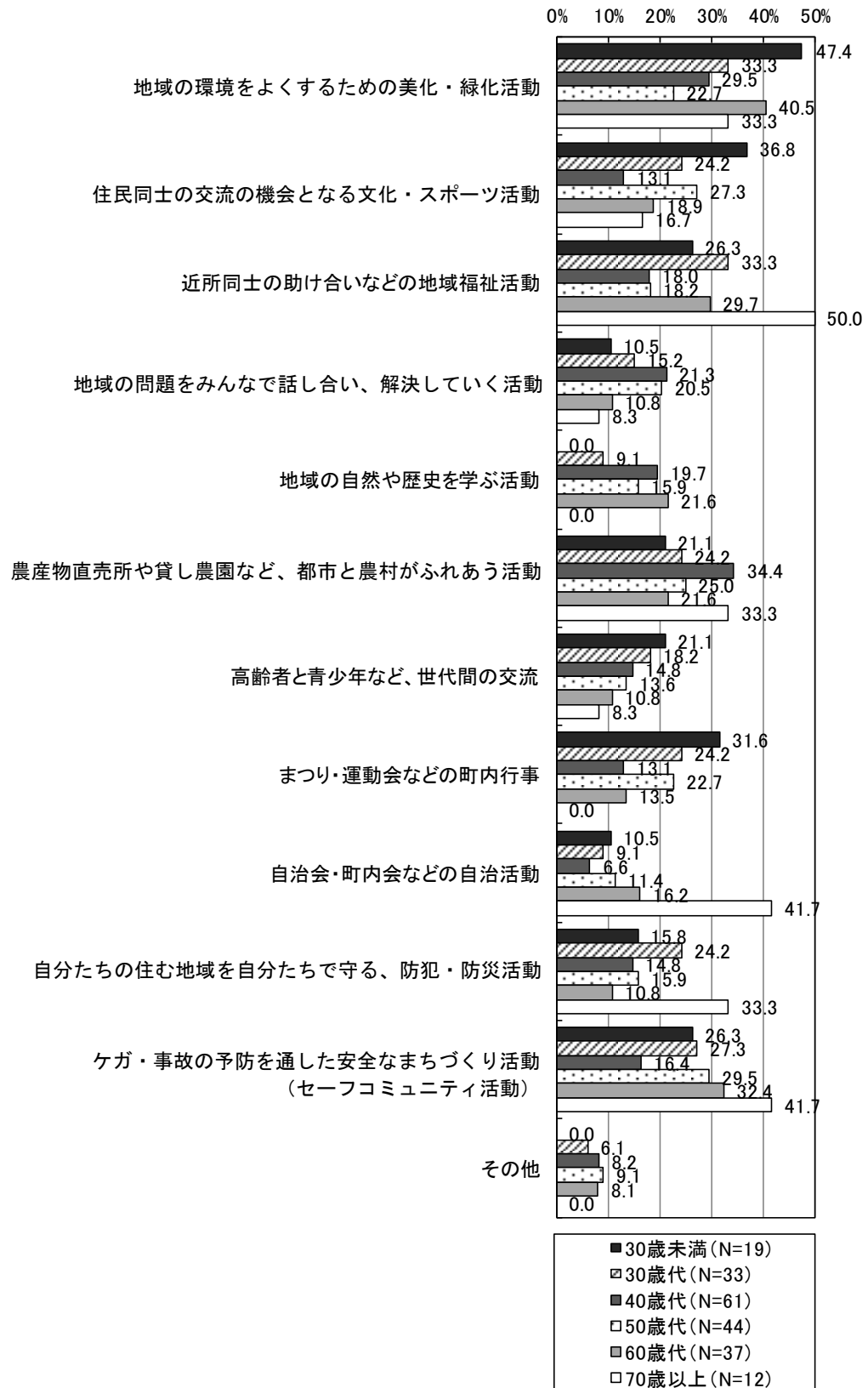


その他	件数
図書館を中心とした、読書啓蒙活動や生涯学習推進活動	1
コンサートなどの文化活動	1
医療、買い物、交通の便の向上	1
既得権益団体を保護し過ぎている	1
なんでもかんでも住民に押し付けている	1

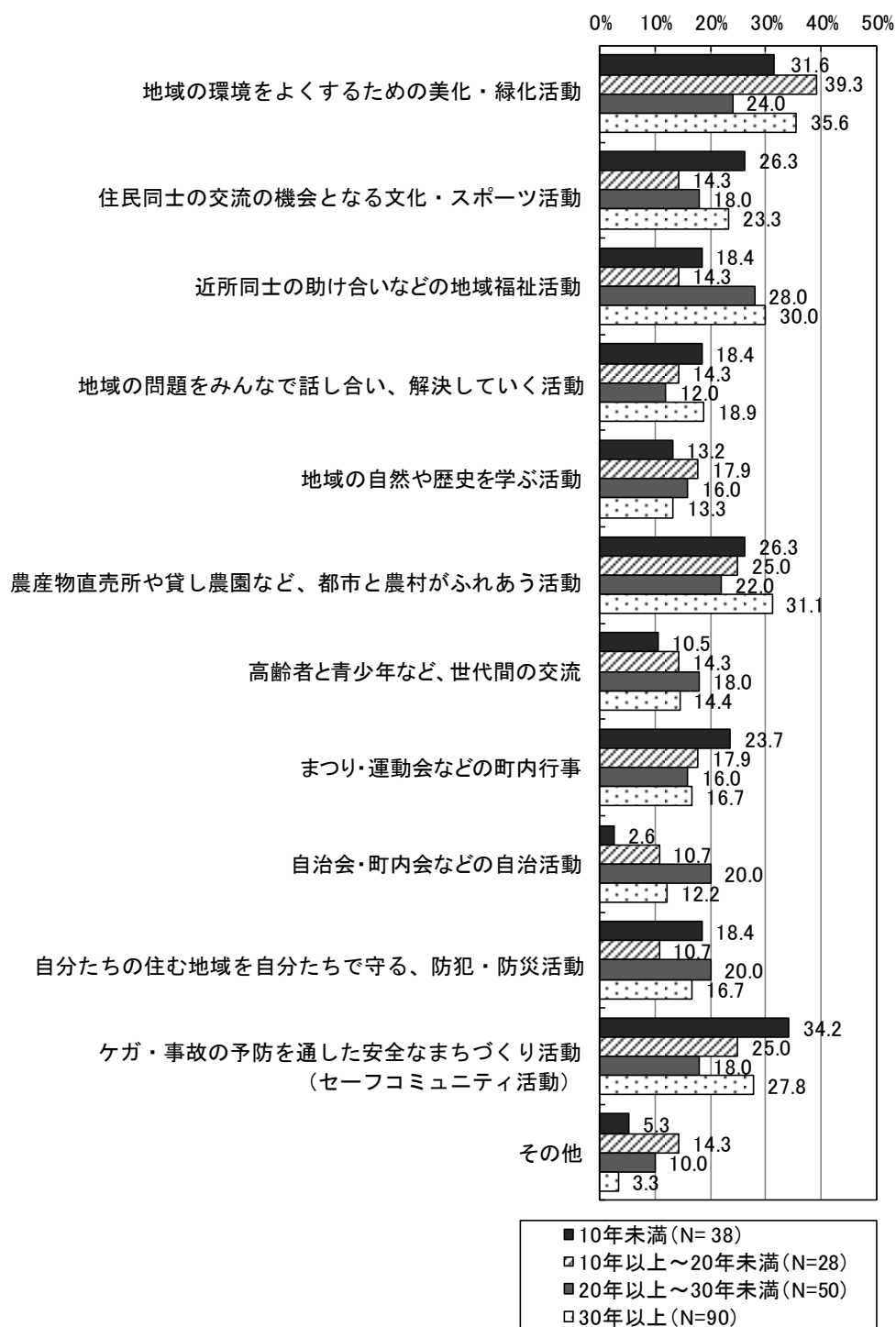
《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



(2)「セーフコミュニティ認証市」として、誰もが安全で安心して生活できるまちづくりを進めていく上で、最も重要なこと〈単数回答〉

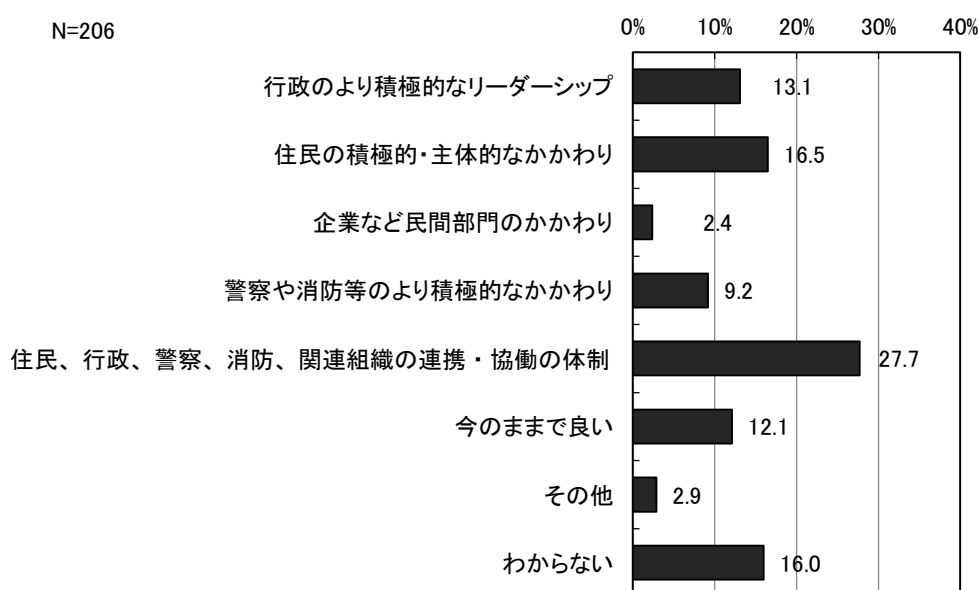
〔問8 亀岡市は、平成20（2008）年にWHO（世界保健機関）セーフコミュニティ協働センターから日本初の「セーフコミュニティ」の認証を受け、平成30（2018）年には再々認証を受けました。今後も、引き続き「セーフコミュニティ認証市」として、誰もが安全で安心して生活できるまちづくりを進めていく上で、最も重要だとお考えのものを1つお選びください。〔その他〕を選んだ場合は、具体的に記載してください。〕

セーフコミュニティ認証市として、誰もが安全で安心して生活できるまちづくりを進めていく上で、最も重要なことについては、「住民、行政、警察、消防、関連組織の連携・協働の体制」が27.7%で最も高く、次いで「住民の積極的・主体的なにかかわり」が16.5%、「わからない」が16.0%となっています。

男女別にみると、「住民、行政、警察、消防、関連組織の連携・協働の体制」について、【女性】が【男性】を8.1ポイント上回っています。

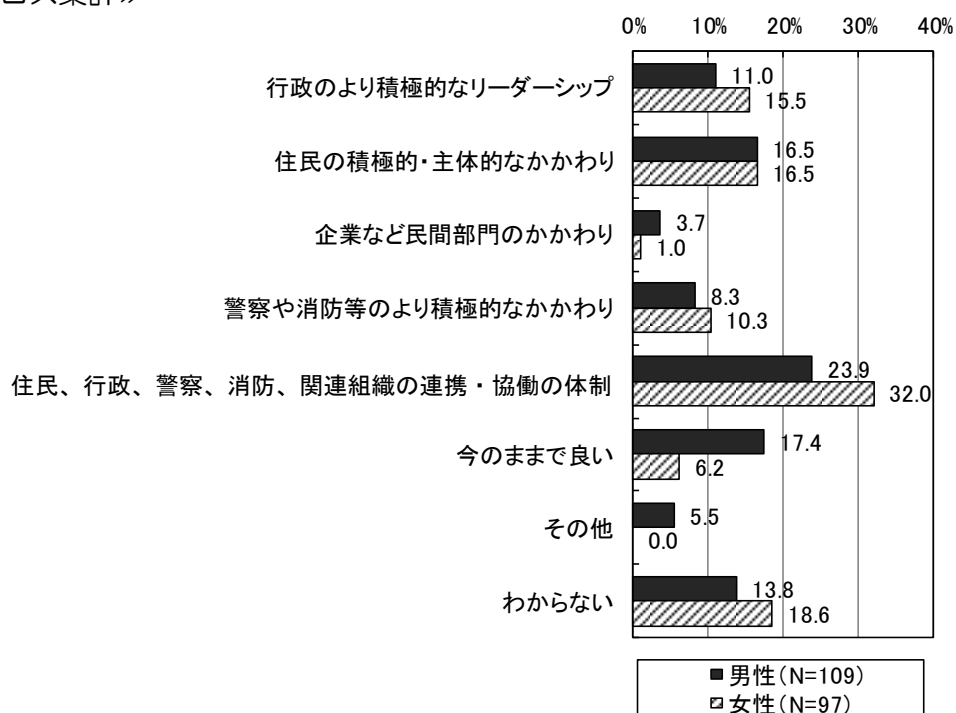
年代別にみると、【40歳代】では「住民の積極的・主体的なにかかわり」が最も高くなっています。

居住年数別にみると、【10年以上～20年未満】では「行政のより積極的なリーダーシップ」が他の年代より高くなっています。

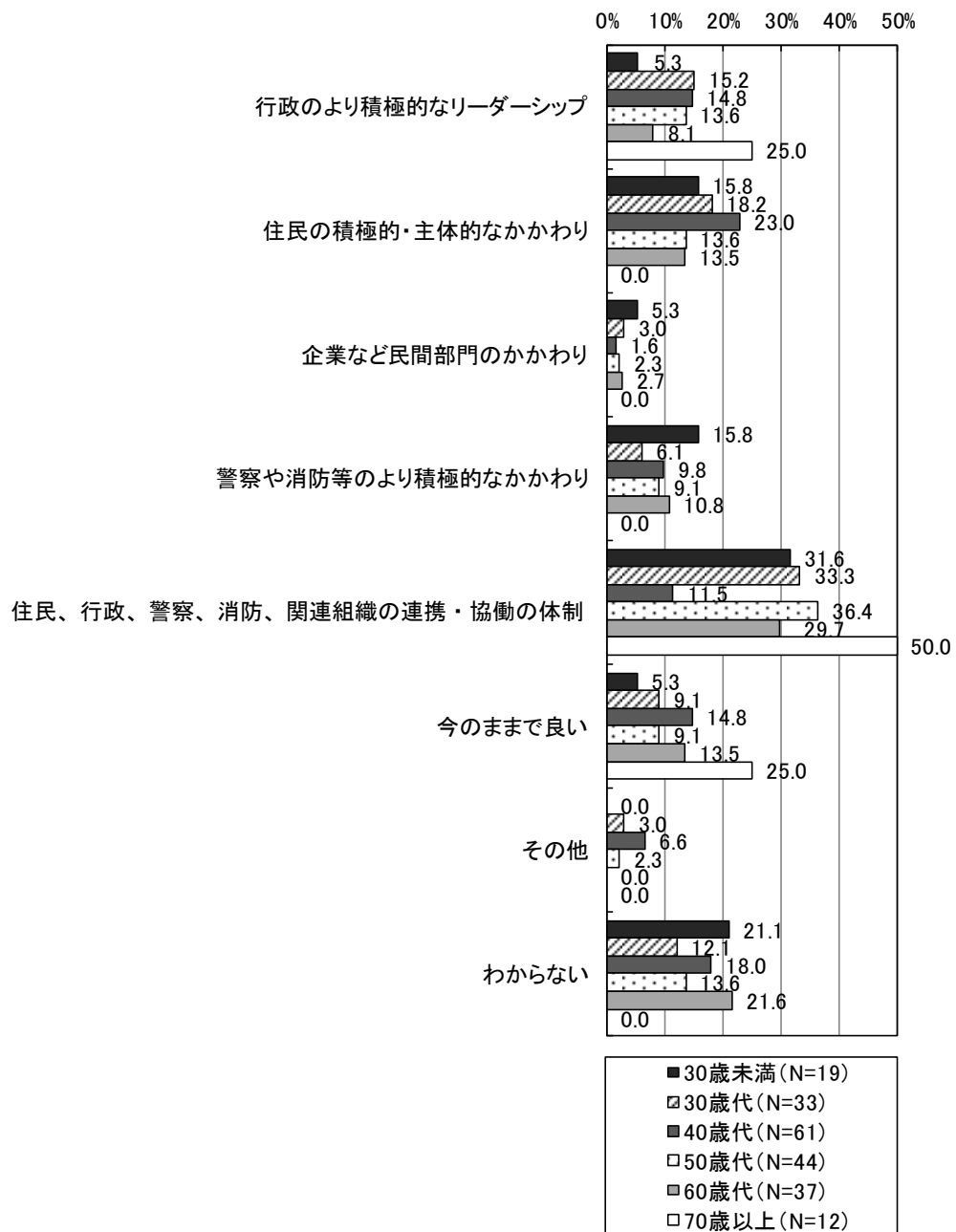


その他	件数
近所との関わり	2
公共交通機関の利用促進（特に鉄道（JR 嵯峨野線）に伴うマイカー利用の削減→交通事故の減少	1
行政の取組内容とその判り易さ	1
三煌産業と、亀岡市の繋がりが	1
なんの期待もない	1

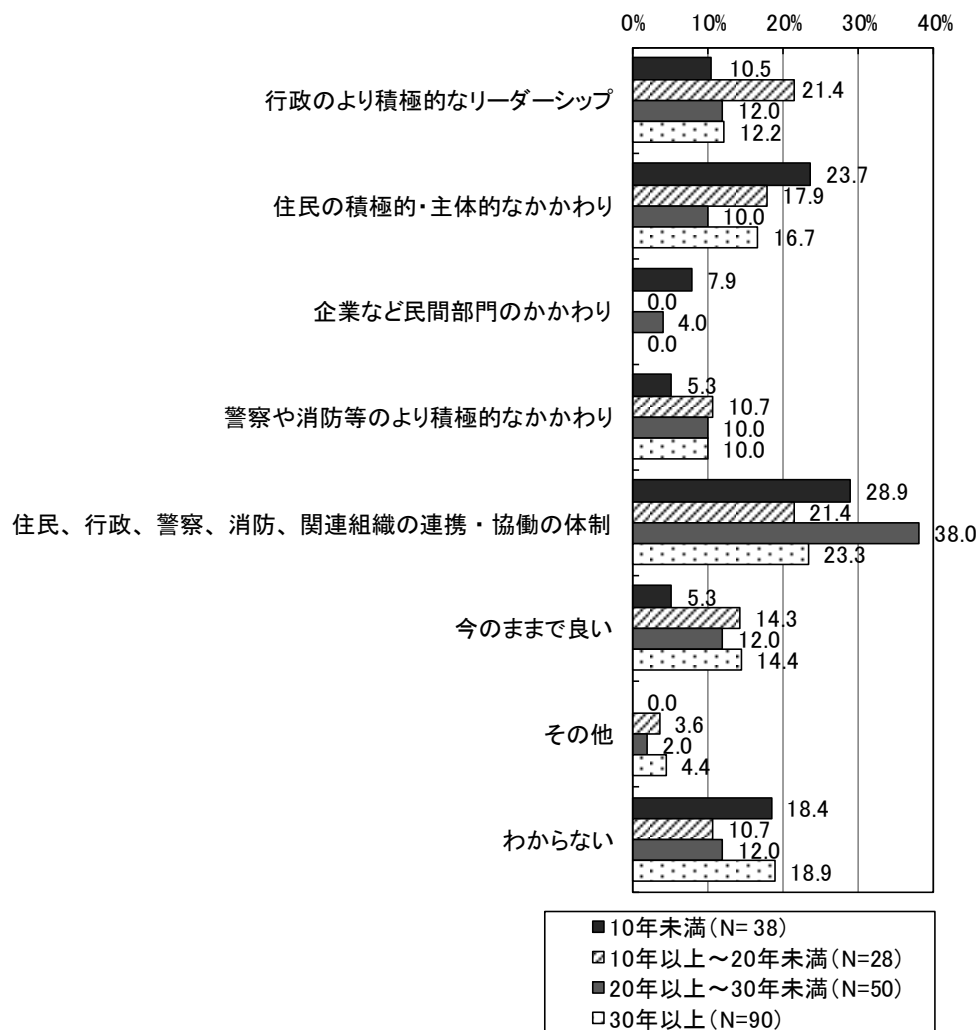
《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



4 子育て支援、高齢者福祉、障がいのある人の支援について

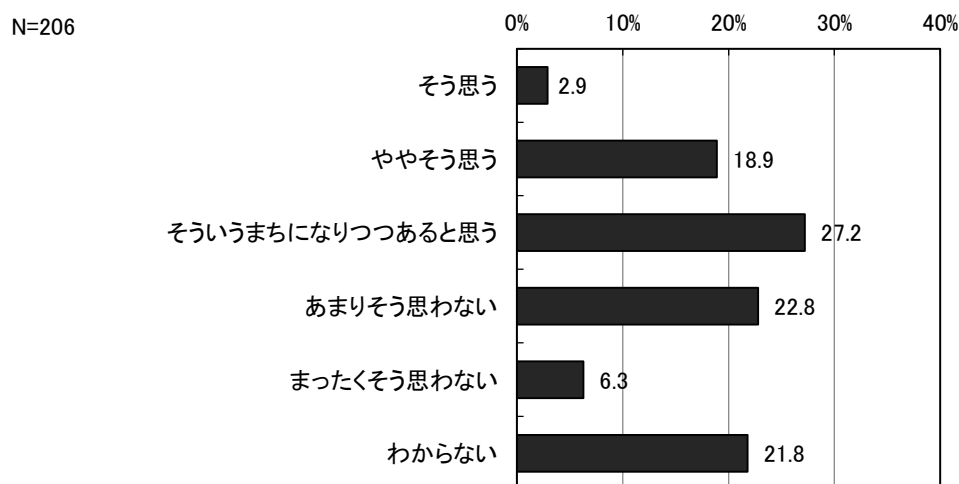
（1）亀岡市は、子どもを生み育てやすいまちであると思うか〈単数回答〉

〔問9 亀岡市では、子育て支援の拠点施設「BCome+（ビーかむぶらす）」を整備し、不安なく出産ができる産前、産後のサポート体制の充実や「子育てワンストップ窓口」の設置等を進めてきました。また、放課後児童会の対象年齢の拡大や時間延長を実施してきました。亀岡市は、子どもを生み育てやすいまちであると思いますか。次のうちから1つ選んでください。〕

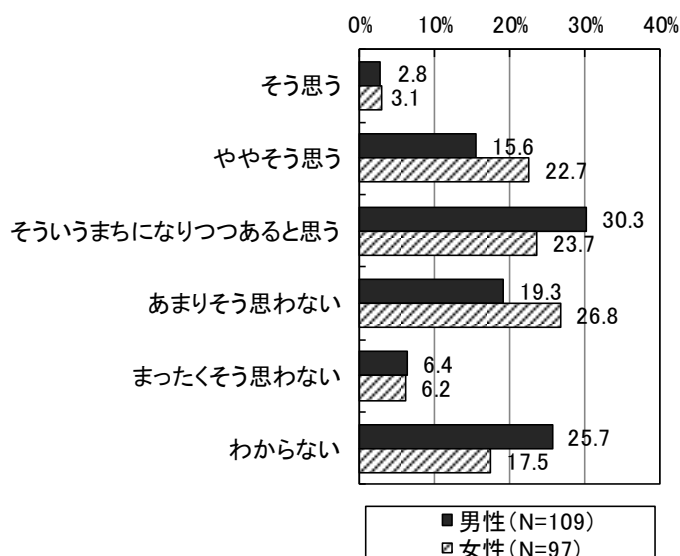
亀岡市は、子どもを生み育てやすいまちであると思うかについては、「そういうまちになりつつあると思う」が27.2%で最も高く、次いで「あまりそう思わない」が22.8%となっています。

男女別にみると、【女性】では「あまりそう思わない」が最も高く、【女性】が【男性】を7.5ポイント上回っています。

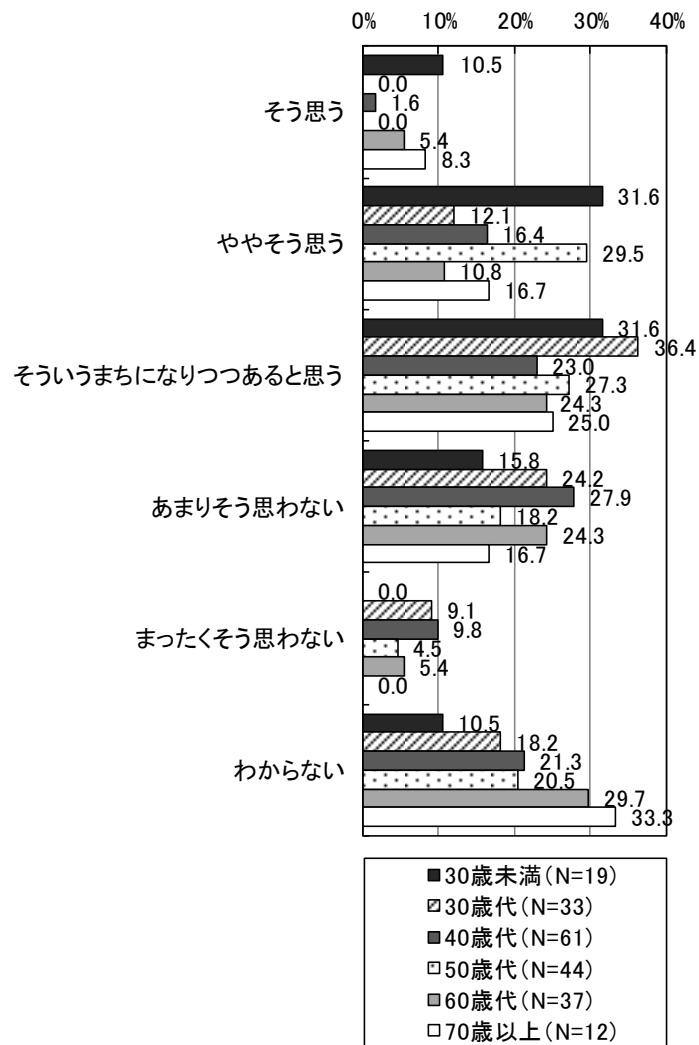
年代別にみると、【60歳代】【70歳代】では「わからない」が最も高くなっています。



≪男女別クロス集計≫



《年代別クロス集計》



5 環境について

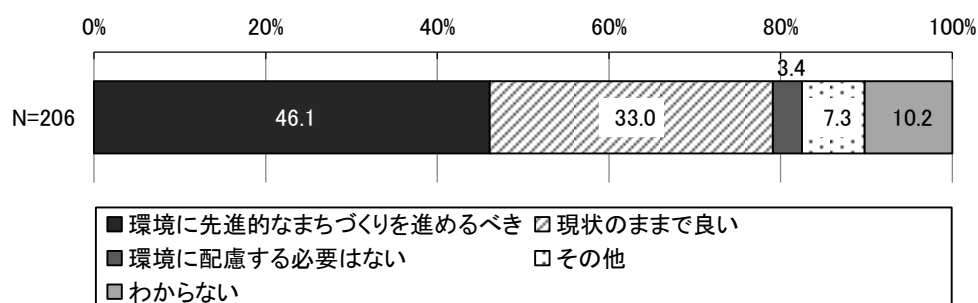
（１）『世界に誇れる環境先進都市』の実現に向けた取組について〈単数回答〉

〔問 10 亀岡市では、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発表し、アユモドキをはじめとする多様な川の生態系等、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』の実現に向け、その第一歩としてプラスチック製レジ袋の廃止に向けた取組を進め、2030 年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指しています。あなたのお考えに近いものを次のうちから1つ選んでください。「その他」を選んだ場合は、具体的に記載してください。〕

世界に誇れる環境先進都市の実現に向けた取組については、「環境に先進的なまちづくりを進めるべき」が46.1%、次いで「現状のままで良い」が33.0%となっています。

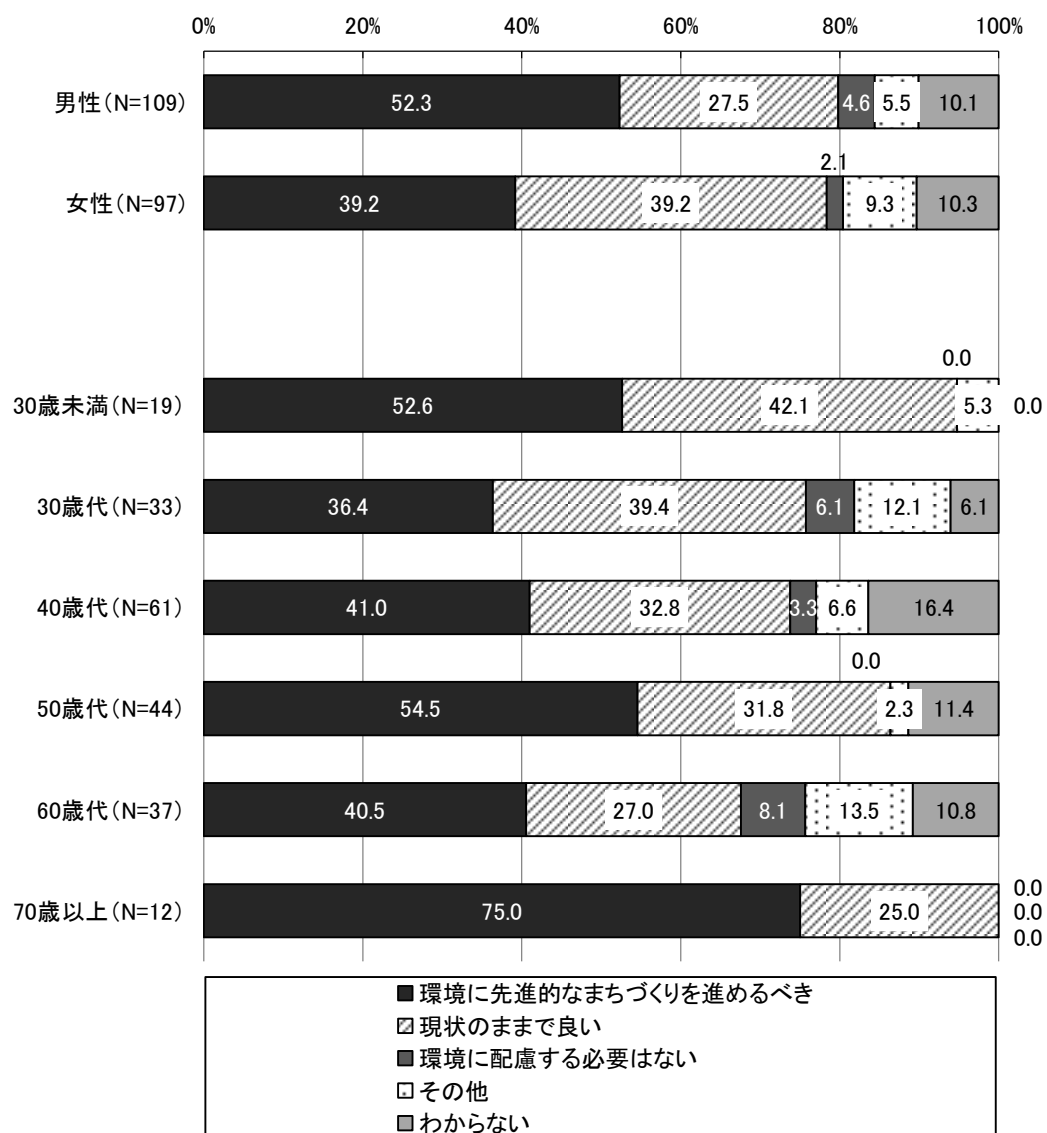
男女別にみると、「環境に先進的なまちづくりを進めるべき」について【男性】が【女性】を13.1ポイント上回っています。

年代別にみると、【30 歳代】では「現状のままで良い」が最も高くなっています。また、「現状のままで良い」については年代が上がるにつれて低くなっています。



その他	件数
レジ袋は必要、有料化、リサイクル、レジ袋以外のゴミもゼロを目指すべき	3
罰則・強引なやり方が気に入らない、市民・企業に理解されるようにすべき	2
環境には配慮すべきだが具体の方策をパフォーマンスでなく考えるべき	1
他市・他町と協力すべき	1
環境を考えた取組は進めるべきだが、同時に、住民の生活の利便性なども考慮する必要があると思う。	1
農地にポイ捨てする人を減らす	1
プラ全廃はやりすぎ	1
国や市がメーカーにプラ容器を出さないように指導すべき	1
行政と住民との間に温度差がある	1
プラスチックゴミの問題では無く、原材料の問題	1
スタジアムのせいで周囲の環境、交通の整備不良、京都市内からの観光客の流入、見てくれだけで、市民の実際に寄り添っていない。	1

《男女別・年代別クロス集計》



6 まちの将来について

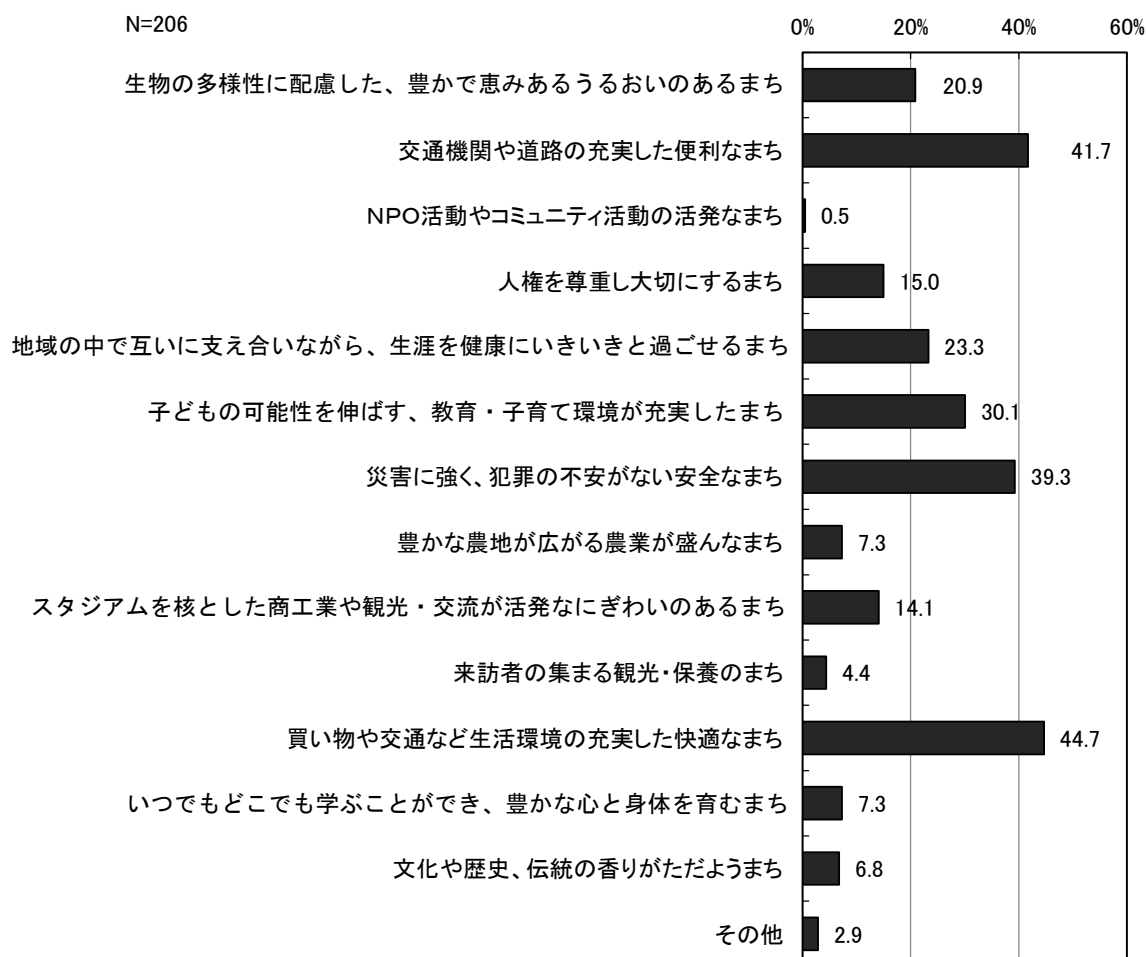
(1) 2030 年の亀岡市は、どのようなまちであってほしいとお考えですか〈複数回答〉

〔問 11 2030 年の亀岡市は、どのようなまちであってほしいとお考えですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。「その他」を選んだ場合は、具体的に記載してください。〕

2030 年の亀岡市は、どのようなまちであってほしいについては、「買い物や交通など生活環境の充実した快適なまち」が 44.7%で最も高く、次いで「交通機関や道路の充実した便利なまち」が 41.7%、「災害に強く、犯罪の不安がない安全なまち」が 39.3%となっています。

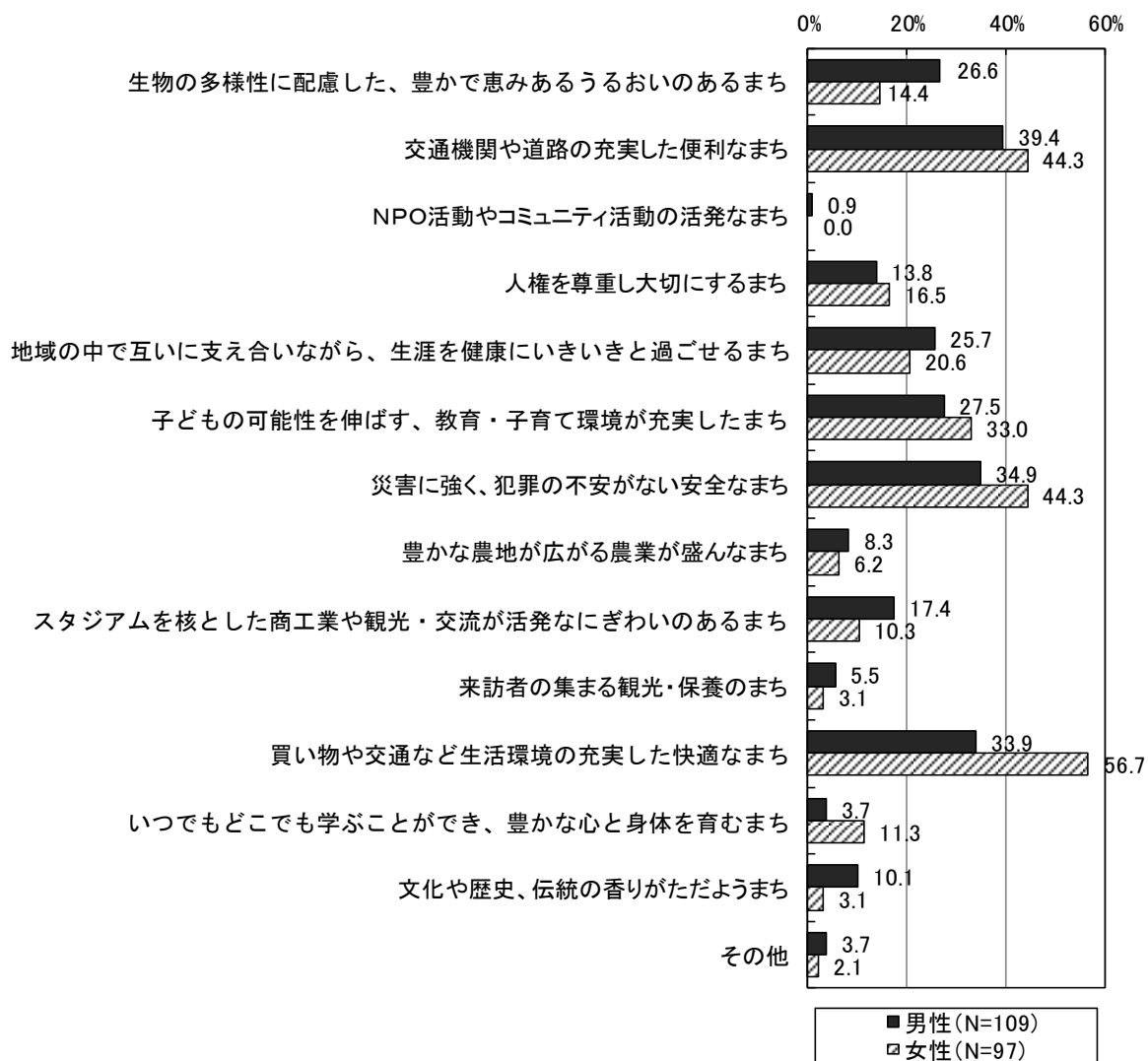
男女別にみると、【男性】では「交通機関や道路の充実した便利なまち」が最も高くなっています。また、「買い物や交通など生活環境の充実した快適なまち」について【女性】が【男性】を 22.8 ポイント上回っています。

年代別にみると、【30 歳未満】では「子どもの可能性を伸ばす、教育・子育て環境が充実したまち」、【30 歳代】では「災害に強く、犯罪の不安がない安全なまち」が最も高くなっています。

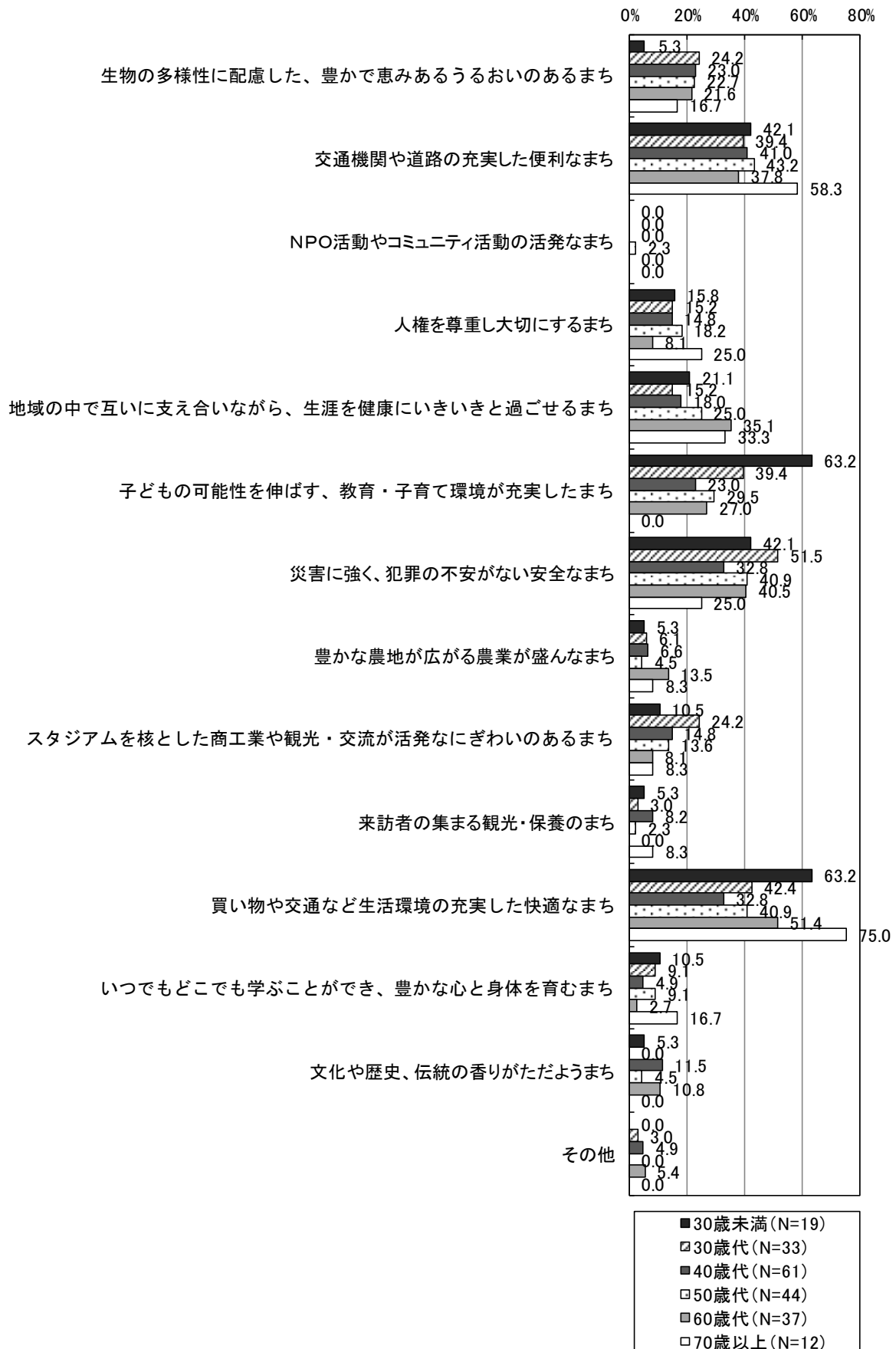


その他	件数
公立の小中高等学校が他の模範となるようなまち	2
医療や福祉の充実したまち	1
住民サービスの充実	1
JRの本数を増やす	1

《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



(2) 今後、新たな都市基盤の整備や市民福祉の向上を図るために市民の負担が増えることについて〈単数回答〉

〔問 12 地方自治体を取り巻く環境が厳しい中、効率的なまちづくりへの取組を進めているところですが、今後、新たな都市基盤の整備や市民福祉の向上を図るためには、市民の負担が増える可能性もあります。あなたはこれについてどうお考えですか。次のうちから1つ選んでください。「その他」を選んだ場合は、具体的に記載してください。〕

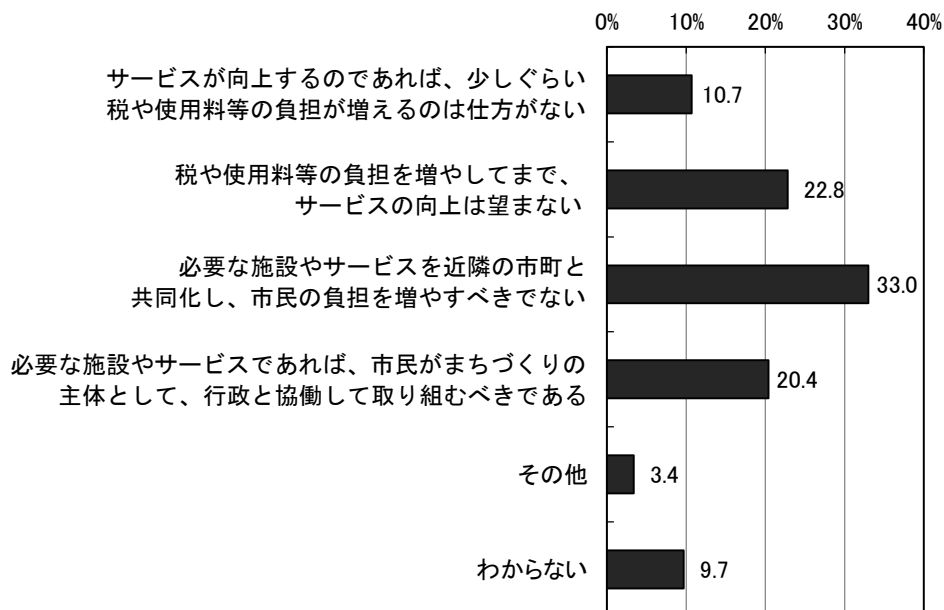
今後、新たな都市基盤の整備や市民福祉の向上を図るために市民の負担が増えることについては、「必要な施設やサービスを近隣の市町と共同化し、市民の負担を増やすべきでない」が33.0%で最も高く、次いで「税や使用料等の負担を増やしてまで、サービスの向上は望まない」が22.8%となっています。

男女別にみると、「サービスが向上するのであれば、少しぐらい税や使用料等の負担が増えるのは仕方がない」について【男性】が【女性】を10.4ポイント上回っています。また、「必要な施設やサービスを近隣の市町と共同化し、市民の負担を増やすべきでない」について【女性】が【男性】を11.7ポイント上回っています。

年代別にみると、【30歳代】では「税や使用料等の負担を増やしてまで、サービスの向上は望まない」についてが最も高くなっています。

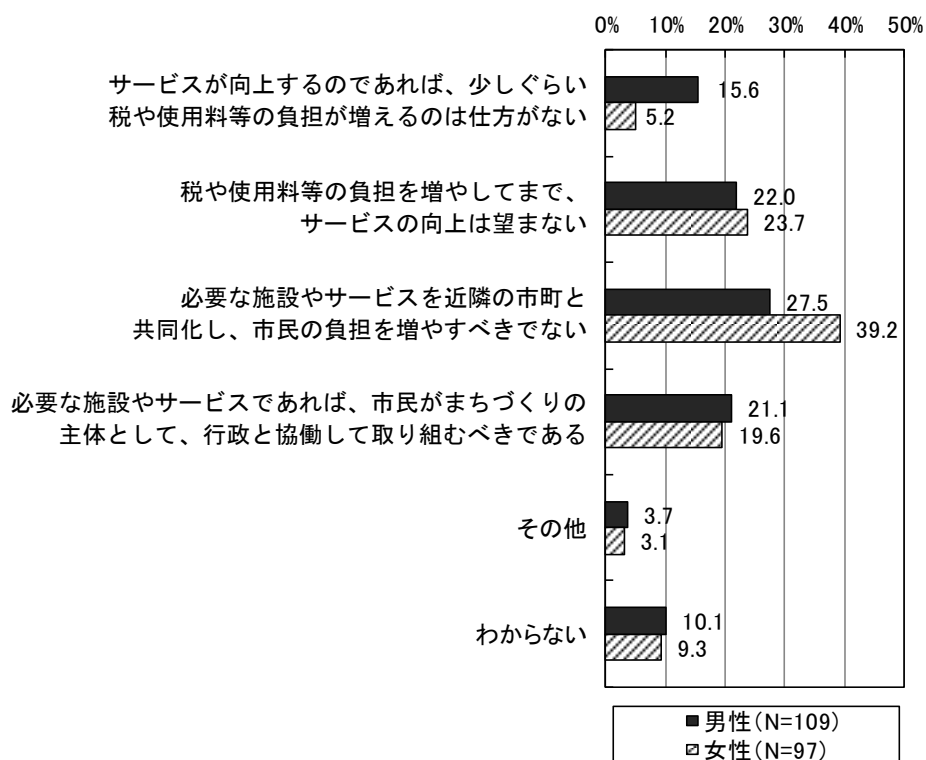
居住年数別にみると、【10年以上～20年未満】では「必要な施設やサービスを近隣の市町と共同化し、市民の負担を増やすべきでない」が他の居住年数より高くなっています。

N=206

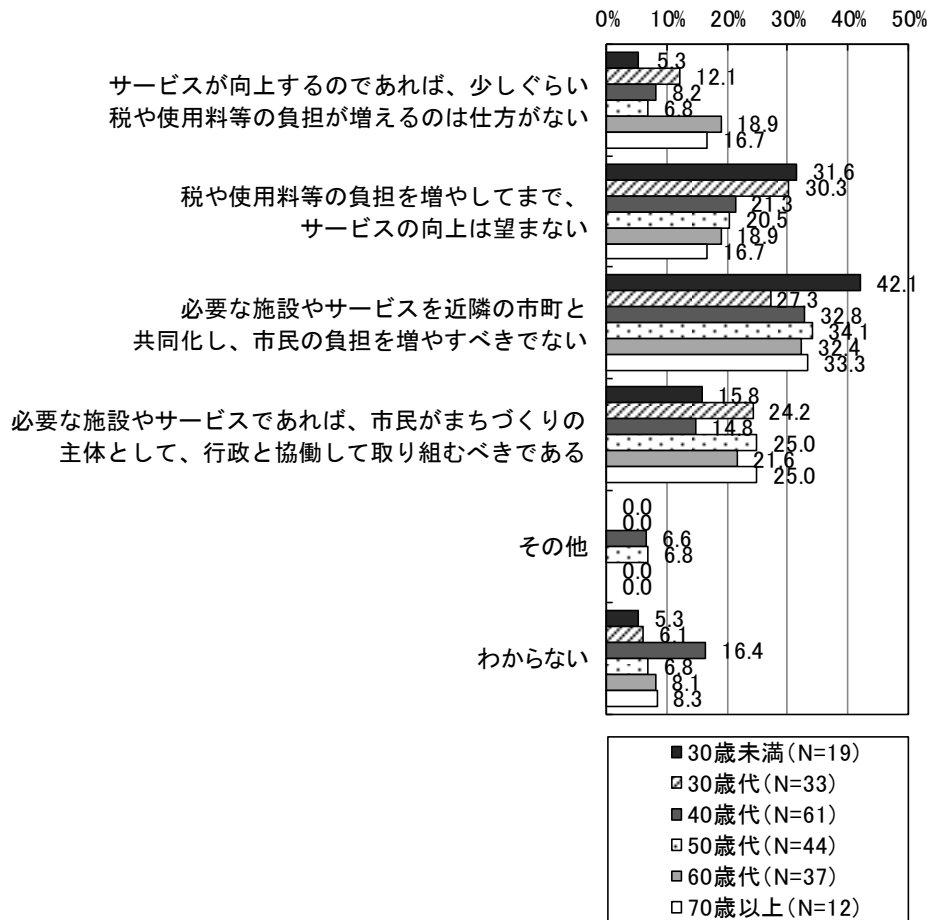


その他	件数
農地の活用を促して自給率を上げるべきだと思います。	1
老人にばかり優しいだけでは正直つらい。働き盛り世代は搾り取られるばかりで不安しかない。	1
スタジアムなど不要なものを作り市民に負担を強いるのではなく、サービスを向上してほしい。	1
負担を増やしてまで、しょうもないスタジアムなんて作らなくていい！	1
無駄な施設に税金を落とさず、企業誘致や商用誘致で税収を増やす等考えてほしい。既得権益団体や、意味の無いNPO 団体を見直してほしい。	1
まず、亀岡市の公務員の待遇を一般企業並みに下げてほしい。それで補填できる。	1
必要な物を増やし、不要な物は減らす。	1

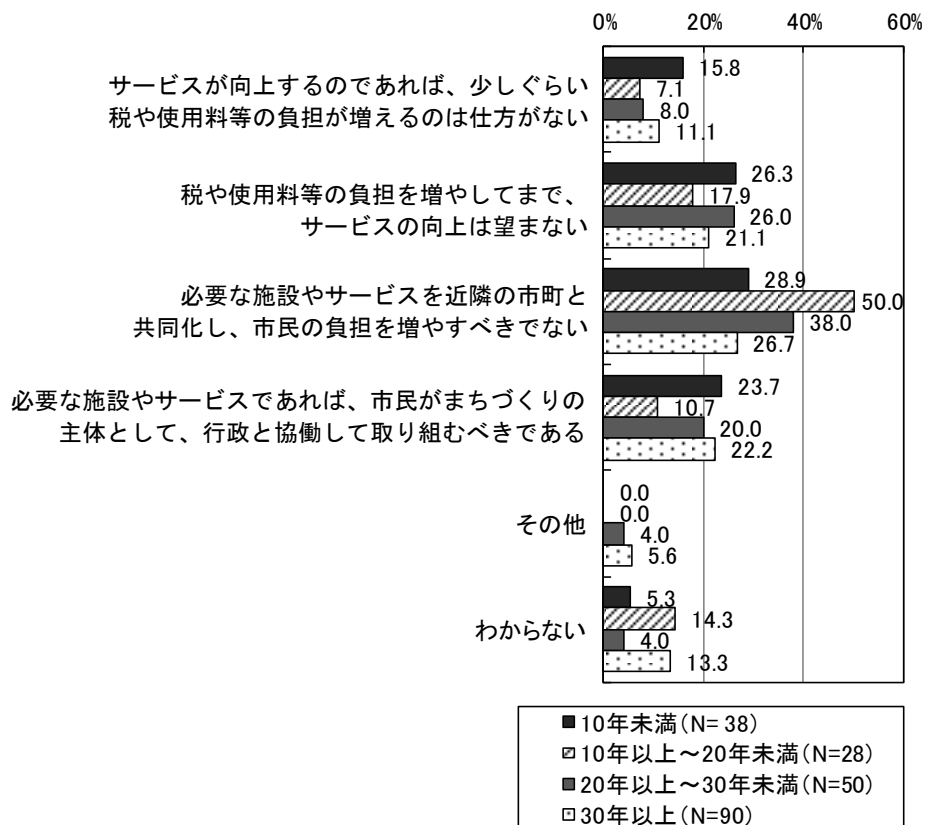
《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



**第5次亀岡市総合計画策定に係る
亀岡市まちづくりWEBアンケート
【結果報告書】**

令和元年 10 月

発行：亀岡市 企画管理部 企画調整課

**〒621-8501
京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL：0771-25-5006（直通）
FAX：0771-24-5501**